

受験番号	
------	--

令和3年度

精道三川台中学校 第1回入学試験

作文問題

注意

- 1 「始め」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 解答用紙の中にはさんであります。
- 3 「始め」の合図があったら、まず、受験番号を問題冊子および解答用紙の受験番号らんに入力してください。
- 4 「やめ」の合図で、筆記用具を置きなさい。
- 5 試験終了後は、問題冊子および解答用紙を机の上に置いたまま指示があるまで待ちなさい。
- 6 検査時間は**45分**です。

令和三年度精道三川台中学校入試作文問題

(四十五分)

次の文章を読んで、あとの問題一、二に答えなさい。

バリアフリーというのは、本来「みんなが」バリアから解放されることを意味するはずである。ユニバーサルデザインとは、本来「みんなが」ハッピーになれる設備や商品のはずである。ところが視覚障がい者の目から見ると、どうもバリアフリーというよりは「車椅子対応」と言いたくなるようなケースが多い気がしてならない。道路の段差をなくしたり、車椅子で利用できるエレベーターが設置されたりすると、「バリアフリー施設」などと看板が立てられたりする。またユニバーサルデザインというと、かなりのケースで「高齢者対応」と言えそうなものが見受けられる気がする。つまり、あるところで一部の弱者に配慮が加えられているものを「バリアフリー」と謳ってしまうと、その一部の人々よりもさらに困っている人々にとっては大変中途半端な配慮ということになって、かえって歯がゆい思いが強くなったりするように思えるのである。

たとえばエレベーターを考えてみると、たしかに車椅子対応のエレベーターには、たいてい点字のボタン表示がついていて、一見私たち視覚障がい者にも配慮が加えられているかのように見える。事実、配慮が加えられてはいるのだから、そこで満足したいところではあるのだ。点字があることでずいぶん助かってもいる。だがしかし、本当はその上に音声案内がついていなければ、現実に利用するにはかなり不安なのだ。車椅子・点字対応のエレベーターの中には、この音声案内のないものがときどき見受けられる。これでは、たとえ点字表示があっても、目の前にドアを開いたエレベーターが上に行くのか下に行くのか分からない。上のボタンを押したからといって、目の前に現われたエレベーターが必ずしも上に行くとは限らないからだ。

さらに、いま乗っているエレベーターが何階に止まったのかを知るにも、点字だけでは降りていちいち確かめなければ分からない。音声で知らせてもらえれば、乗ったまま、ここで降りるべきかそうでないかの判断がすぐにつく。おまけに、現在目の見えない人々のうち、点字が読めるのは一、二割、つまり一〇人に一人か二人しかいないそうである。だから理想的には、車椅子対応のエレベーターに点字表示と音声案内の両方が完備されていれば、私たちは心から安心して利用できるのである。

音声といえば、このごろ家電製品に点字表示がついているものが増えてきた。それはありがたい限りなのだが、その点字表示のついたボタンを押して機能を利用するには、画面を見なくてはならないのだ。

もしボタンを押したときの音がメニューごとに違うとか、メニューや選択された項目を音声で知らせてくれれば「完璧」なのに、これまた「惜しい」のである。

たとえ一ヶ所でも、重要な画面に読み上げが対応していないがために、私たちには使い切れないIT機器やソフトウェアもある。駅に行けば、「表示された料金をお入れください」と言いながら、音声では金額を言わずに画面に表示する計算機がある。高速道路などでは「料金は××円です」などと言ってくれるのだから、精算機だってその気になればしゃべってくれそうなものなのに、まったくどれもこれも「惜しい」ものばかりなのである。

つまり、私が見るところでは、バリアフリーもユニバーサルデザインも、どこかに「穴」をもっているような気がするのである。そしていまのところ、“scendless”（目の不自由な人）である私たち視覚障がい者が、多くのケースでその「穴」にはまっていそうな気がする。本当は、その「穴」を少しでもなくして、初めて私が思う「元氣な心のユニバーサル社会が実現するような気がしてならない。そしてそうなるには、生産する人も消費する人も、もう一度「発想」というものを見つめ直すことが大事なのではないかと強く思うようになったのである。

〈「目を閉じて心を開いて」三宮麻由子〉

問題一 「バリアフリー」や「ユニバーサルデザイン」における現状を筆者はどのように考えていますか。

九十字以上百十字以内で解答用紙に書きなさい。

【注意】

- 一、題名や名前は書かないでください。
- 二、原こう用紙の二行目から書き始めてください。
- 三、段落に分ける必要はありません。

問題二 この文章を読んで、あなたが考えたり感じたりしたことを、**問題一**で書いた内容と関連させながら、**四百五十文字以上五百文字以内**で解答用紙に書きなさい。

【注意】

- 一、題名や名前は書かないでください。
- 二、原こう用紙の二行目から書き始めてください。
- 三、必要に応じて、段落に分けて書いてください。